

平成29年度 **国** **語** (50分)

## 注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
- 2 この問題冊子は32ページである。  
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- 3 試験開始の合図前に、監督者の指示に従って、解答用紙の該当欄に以下の内容をそれぞれ正しく記入し、マークすること。
  - ・①氏名欄  
氏名を記入すること。
  - ・②受験番号、③生年月日、④受験地欄  
受験番号、生年月日を記入し、さらにマーク欄に受験番号(数字)、生年月日(年号・数字)、受験地をマークすること。
- 4 受験番号、生年月日、受験地が正しくマークされていない場合は、採点できないことがある。
- 5 解答は、解答用紙の解答欄にマークすること。例えば、

10
----

と表示のある解答番号に対して②と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の②にマークすること。

(例)

解答 番号	解 答 欄				
10	①	②	③	④	⑤

- 6 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
- 7 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってよい。

国語

解答番号

1

24

1

次の問1～問4に答えよ。

問1 (ア)、(イ)の傍線部の漢字の正しい読みを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つ選べ。解答番号は 1・2。

(ア) 業を煮やして叫んだ。

1

- ① なりわい
- ② ぎょう
- ③ ごう
- ④ わざ
- ⑤ じゅつ

(イ) 市井の声を聞く。

2

- ① しい
- ② しせい
- ③ ししょう
- ④ いちせい
- ⑤ いちのい

問2 傍線部に当たる漢字と同じ漢字を用いるものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 3。

関係者がイチドウに会する。

- ① ドウドウとした態度。
- ② 志望ドウキを述べる。
- ③ 他校とゴウドウで練習をする。
- ④ ケンドウの稽古をする。
- ⑤ 小学校のジドウが対象だ。

問3 傍線部と文法的な説明が同じ「つ」を含むものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 4。

走<sup>1</sup>つて

- ① 家に預けたりつる人の心も  
② 扇も射よげにぞなつたりける  
③ 我ら三人取りついたらんに  
④ 矢七つ八つ候<sup>さうら</sup>へば  
⑤ 駿河なるうつの山辺のうつつにも

問4 「役不足」は「その人の力量に対して割り当てられた役目が軽すぎていること」という意味である。この熟語の使い方として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 5。

- ① 私では役不足かもしれませんが、精一杯がんばりますので応援してください。  
② 引き受けた以上、うまくできないからといって役不足を嘆くのはいけない。  
③ 向こう見ずで自暴自棄な選択をするのは役不足というものだ。  
④ 彼は生徒会長も十分に務められるのに書記では役不足だ。  
⑤ 大変な仕事なので私には役不足でとても務まらない。

## 2

高校生の宮田さんは、総合的な学習の時間に、学校がある緑市について調べる学習を行い、そのまとめとして「緑市を知らない人を対象に、市のPRをする」という設定でスピーチをすることになった。宮田さんが【スピーチ原稿】を作成したところ、クラスメートから【宮田さんの原稿についての意見】をもらった。これらを読んで、後の問1、問2に答えよ。

## 【スピーチ原稿】

私は、緑市の農産物を紹介します。豊穡ほうじょうな大地と温暖な気候に恵まれた緑市では、豊富な種類の農産物が収穫されます。特に大根は生産量が多く、おでんや大根サラダなどを食べられる店がテレビで紹介されたので、とても有名です。サツマイモは品種が多く、緑市で収穫されたサツマイモを使用したスイートポテトや大学芋など加工品を販売しています。梨とトマトも品種が多く、時期によって違う品種が食べられます。スイカと柿は非常に甘いです。他にも白菜、キュウリ、ナスなどが収穫されています。緑市にはレンタル農園の制度があり、誰でも好きな野菜を栽培して食べることが可能です。近隣には自然公園もあって、幼児が安全に遊べる遊具があります。ぜひ、緑市の農産物を食べてください。

## 【宮田さんの原稿についての意見】

東川さん 「スイートポテトはお菓子であり、農産物とは全く関係なく、スピーチの主題から外れるので他の加工品の話をするのがよい。」  
 西山さん 「『豊穡』など、聞いただけでは分かりにくい漢語が使用されているので、簡単な表現に直すのがよい。」  
 南原さん 「自然公園の話題は前後の内容との関連がなく、このままでは宮田さんのスピーチのテーマと合わないので省略するのがよい。」  
 北沢さん 「緑市を知らない人に話すという設定なので、レンタル農園についての詳しい紹介をするのがよい。」  
 中井さん 「『紹介されてしまった』とあるが、これは好ましくない結果になったという場合に使う表現なので『紹介されたので』と直すとよい。」

問1 【宮田さんの原稿についての意見】の中で、その内容が適当でないものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 

6
---

 。

- ① 東川さんの意見
- ② 西山さんの意見
- ③ 南原さんの意見
- ④ 北沢さんの意見
- ⑤ 中井さんの意見

## 問2

宮田さんは、クラスメートからの意見を踏まえて原稿を推敲し、【修正したスピーチ原稿】を作成した。【修正したスピーチ原稿】には、クラスメートからの意見以外で宮田さんが工夫した点がある。その内容として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

7。

## 【修正したスピーチ原稿】

皆さん、こんにちは。緑市は土地が豊かで、気候が暖かく、良いところがたくさんあります。その中で私は、緑市の農産物を紹介します。皆さん、サツマイモは好きですか。私はサツマイモが大好きです。緑市はサツマイモが多く穫れますが、品種が多いことも特徴で、地元では品種の特性を生かした方法で調理されています。サツマイモは品種によって味が違いがあり、シンプルな焼き芋も品種と焼き方によって味が違います。皆さん、市内のお店にパンフレットがありますので、ぜひ御覧ください。そして、ぜひサツマイモを食べ比べてみてください。緑市で穫れたサツマイモを使ったスイートポテトや大学芋を売っているお店もあり、お土産にもちょうどいいと思います。

緑市は、他にも多くの種類の農産物が穫れます。特に大根は全国的にみても生産量が多く、おでんや大根サラダなどを食べられるお店が市内にたくさんあり、テレビで紹介されたこともあって有名になりました。他にもスイカやトマト、柿、梨、白菜などが穫れます。私の家も農家で、物心ついたころから新鮮なキュウリやナスを食べていました。キュウリの表面にとげがありますよね。あれは、新鮮なものほど鋭くて、触るとチクチク痛いんです。ナスも、がくのところが鋭いものが新鮮です。

このような新鮮な野菜を、自分で作ってみたいと思いませんか。そういう方にはレンタル農園がおすすめです。緑市内のレンタル農園では、好きな野菜を自分で作って食べることができます。市役所で簡単に申し込むことができます。野菜の作り方を詳しく教えてもらえますし、穫れた野菜は、レンタル農園近くのキャンプ場で料理して食べることもできます。

おいしいものは人生を豊かにします。ぜひ、緑市に来て、おいしい農産物をたくさん食べてください。

- ① 話題の情報源や引用の出典などについては、後で聞き手がその内容を確認し、実際に行動しやすいように正確に詳しく伝えていく。さらに、書き言葉を用いた論理的な構成によって、聞いてすぐに理解できるスピーチにしている。
- ② 擬声語や比喩表現を繰り返すことで臨場感を演出し、聞き手の興味を引くようにしている。加えて、説明的な内容になり過ぎないように、多方面にわたる豊富な知識を披露することで、聞き手を飽きさせないようにしている。
- ③ 聞き手に呼びかけることで興味を引いたり自分の家の話をするなどでスピーチに個性を出したりしている。また、話題を絞って具体的に述べ、農産物の名前を繰り返すことで、聞き手の印象に残るようなスピーチにしている。
- ④ 多くの情報の中から伝えたいことを厳選して詳細に話すことで、論理的かつ具体的にまとめている。また、話を聞いて不快感を持たれることのないように聞き手の行動を促す提案や主張などを避け、説明に徹することで無難な内容にまとめている。
- ⑤ 聞き手が理解しやすいように同音異義語を使わず、代わりに対句表現を使ったり名言を織り込んだりすることで面白さを加えている。しかも、テーマに関連するキャンプ場の話題を追加している。

3

北高校では、ボランティアの一環として、老人福祉施設の入居者のために、電化製品等の取扱い説明書をわかりやすく書き換えたり説明したりする活動をしている。ある日、ボランティアに訪れた秋元さん、水野さん、安田さんは、入居者の山田さんから次のように相談された。山田さんの相談を受けた三人は資料を作り、山田さんの相談にどのように対応するかを話し合った。【山田さんの相談内容】、【三人が作成した資料】、【三人の話し合い】を読んで、後の問に答えよ。

【山田さんの相談内容】

スマートフォンを買ったときに、取扱い説明書がついていなくて困ったよ。今は、インターネット上に説明が載っているんだね。でも、私には難しいよ。スマートフォンでやりたいことができるように、よく使う操作を紙に書いてほしいんだ。いつも人に聞けるとは限らないし、忘れてしまっからね。それを見ながら操作したいんだ。それと、このスマートフォンは、画面が大きいかと店員に勧められて買ったんだが、思ったより小さいね。文字や写真を大きくできるんだろう。どうすればいいのかな。スマートフォンって、便利だけど機能があまりすぎて、使いこなせないよ。

【三人が作成した資料】

秋元さんの資料

【スマートフォンの説明】

スマートフォンの操作は、主にタッチパネル画面を直接指で触ることで行います。

主な操作は、タップ(短く触れる)、ダブルタップ(2回短く触れる)、ドラッグ&ドロップ(タッチしたまま指でなぞって離す)、フリック(画面を払うようにタッチする)、ピンチアウト(2本の指で画面をタッチし、指の間を広げる)、ピンチイン(2本の指で画面をタッチし、指の間を近づける)などです。指の感覚で覚えれば簡単ですよ。

【画面を拡大するには】

2本の指で画面をタッチし、指の間を広げると画面が大きくなります。



水野さんの資料

覚えておきたいスマートフォン  
基本操作 4 種類

DRAG & DROP



ドラッグ&ドロップ

FLICK



フリック

PINCH IN



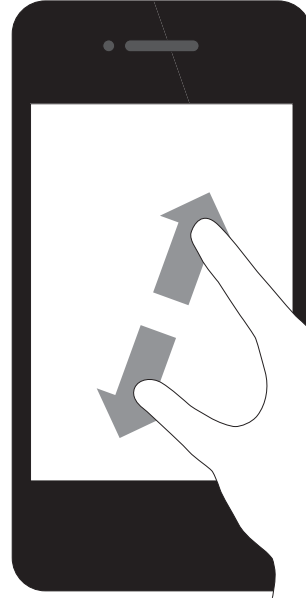
ピンチイン

PINCH OUT



ピンチアウト

**ピンチアウト (PINCH OUT)**



2本の指で、画面に触れて、広げるように指を離して操作することで、画面や写真などを拡大することができます。

安田さんの資料

目的別スマートフォン操作



文や写真を移動するとき



画面を上下左右に動かすとき

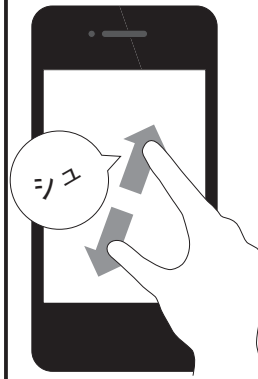


縮小するとき

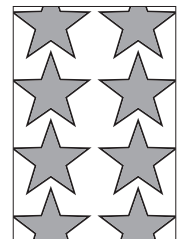
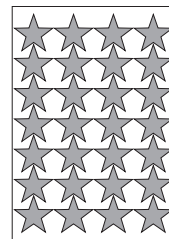


拡大するとき

**写真や図を拡大したい！**



2本の指で、画面に触れて、広げるように指を離します。簡単な操作です！チャレンジしてみてください！「習うより慣れる」です。



【三人の話し合い】

秋元さん 「僕は、A と思って資料を作ってみたよ。」

水野さん 「それじゃ分からないんじゃない？ 私は、B と思って資料を作ってみたの。」

安田さん 「僕もそう思ったよ。でもね、僕は、C と思って資料を作ってみたんだ。」

秋元さん 「そうなんだ。水野さんや安田さんはどうしてそう思ったの？」

水野さん 「そのほうが人に聞くとときもインターネットで検索するときも、便利だと思って。」

安田さん 「僕は、山田さんのやりたいことができるようにするのを優先しようと思ったんだ。」

水野さん 「『習うより慣れる』って、アドバイスまで入っておもしろいわね。」

安田さん 「いろいろ触っていくうちに、山田さんが覚えられるといいと思ってさ。それに、せっかく買ったんだから、苦手意識をなくしてあげたいからね。」

問 「三人の話し合い」の中にある空欄

A

く

C

にあてはまる内容の組合せとして最も適当なものを、後の①く⑤のうちから一つ選べ。解

答番号は 8。

ア 英語とカタカナの両方の表記があるといい  
イ インターネット上の説明を紙に書くのがいい  
ウ 専門用語を使わないで、目的別の説明があるといい  
エ 基本操作の説明と、絵や図がたくさんあるといい  
オ 身体感覚を表現する擬態語があるのがいい

- |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| A | A | A | A | A |
| イ | イ | エ | ア | イ |
| B | B | B | B | B |
| オ | ウ | ア | オ | エ |
| C | C | C | C | C |
| ウ | オ | ウ | エ | ウ |

4

高校二年生の増山さんの学校では毎年体育祭があり、ここ数年は体育祭の最後の種目として学年対抗リレーが行われてきた。しかし、学年対抗リレーが最後に行われると、体育祭が非常に盛り上がった雰囲気が終わることができる反面、学年対抗リレーの成績の集計には時間がかかるために、閉会式が時間通りに始められないという運営上の問題点があった。このため、体育祭実行委員会では、今年の体育祭を企画するにあたり、学年対抗リレーを午後の一番目の種目として実施するという改善案を考えたが、校内には依然として、学年対抗リレーは体育祭の最後の種目として実施したいと考えている生徒が多い。そこで、体育祭実行委員会では、各クラスの責任者を集めて集会を開き、学年対抗リレーを午後の一番目の種目として実施するという改善案について説明することにした。次に示したのは、体育祭実行委員会が説明に用いるための【昨年度の体育祭プログラム】、【アンケート結果】(I～VI)、【実行委員の話合いの一部】である。これらを読んで、後の問に答えよ。

【昨年度の体育祭プログラム】

〈午前〉10：00～12：00

- 開会式
- 綱引き
- 大縄跳び
- ダンス

[昼食・休憩] 12：00～12：50

[応援合戦] 12：50～13：15

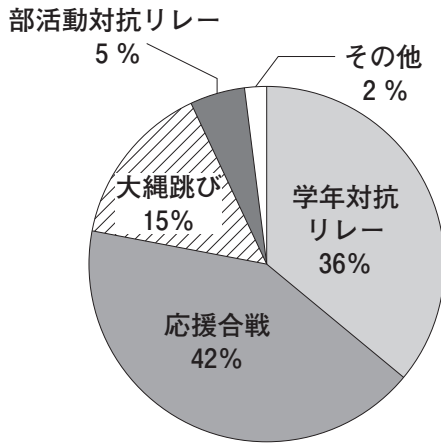
〈午後〉13：15～15：00

- 借り物競走
- 部活動対抗リレー
- 学年対抗リレー
- 閉会式(成績発表)

※ I、II、IIIの回答者は生徒。IV、V、VIの回答者は保護者。

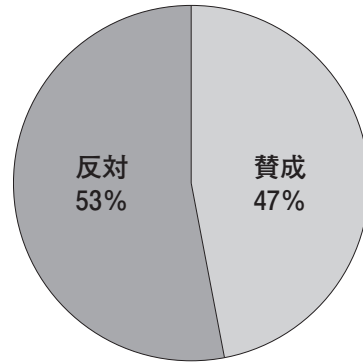
【アンケート結果】

IV 体育祭で最も楽しみにしている種目は何ですか。(回答数：全学年の保護者 559 名)



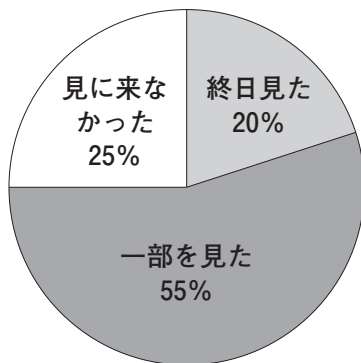
I 体育祭で、学年対抗リレーを午後の1番目の種目として実施することについて賛成ですか。反対ですか。

(回答数：1年 240名、2年 238名、3年 242名)



V 昨年度の体育祭に来校しましたか。

(回答数：2年生と3年生の保護者 438名)



II 学年対抗リレーを午後の1番目の種目として実施することについて、賛成する理由、反対する理由を教えてください。

(回答数：1年 240名、2年 238名、3年 242名)

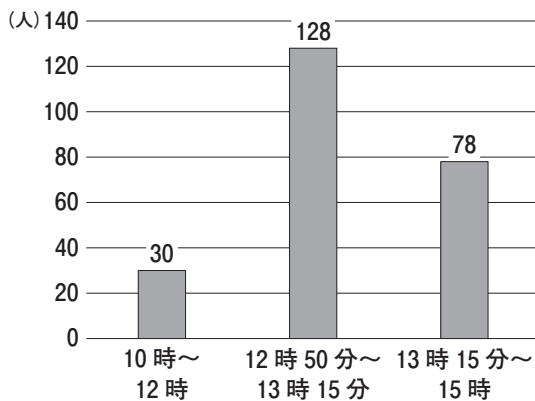
〔賛成する理由(主なもの)〕

- 昨年の体育祭では、閉会式の開始が30分遅れたから。
- 体育祭の日は疲れているので、閉会式は時間通りに始めて、時間通りに終わるようにしてほしいから。

〔反対する理由(主なもの)〕

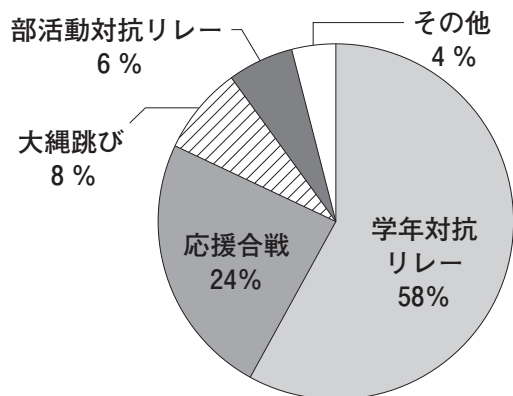
- 学年対抗リレーは盛り上がる種目だから。
- 学年対抗リレーは全校生徒が注目する種目なので、体育祭の最後に実施するのがふさわしいと思うから。

VI 昨年度の体育祭で、どの時間帯を見ましたか。(回答数：Vで「一部を見た」と回答した保護者のうちの236名)



III 体育祭で最も楽しみにしている種目は何ですか。

(回答数：1年 240名、2年 238名、3年 242名)



【実行委員の話し合いの一部】

増山さん 「【昨年度の体育祭プログラム】とⅤ、Ⅵの結果を見ると、体育祭では A を見に来る保護者が多いことが分かるね。」

押本さん 「そうだよな。Ⅳの結果を見れば、学年対抗リレーは保護者にも人気がある種目だから、この種目を午後の一番目に行えば、保護者にはきつと歓迎されるだろうね。」

並木さん 「残る問題は、生徒に関する結果の方になるね。Ⅲを見ると、やっぱり学年対抗リレーは生徒に人気があることが分かるね。」

増山さん 「ⅠとⅡを見ると、『学年対抗リレーを午後の一番目の種目として実施しよう』という私たちの改善案に対しては、賛成と反対で生徒は二分されているね。賛成派と反対派の対立点は、 B のどちらを優先するのかという点だよな。」

押本さん 「そうだね。まだ集会までに時間があるから、もう少しいろいろな資料を集めてみよう。」

問  
空欄

A

B

にあてはまるものとして最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つ選べ。解答番号は

9

10

A

9

- ① 部活動対抗リレー
- ② 学年対抗リレー
- ③ すべての種目
- ④ 大縄跳び
- ⑤ 応援合戦

B

10

- ① 一年生の意見と二、三年生の意見
- ② 一部の生徒の意見と大半の生徒の意見
- ③ 体育祭の種目を増やすことと減らすこと
- ④ 体育祭の盛り上がりとして体育祭の計画に沿った進行
- ⑤ 昨年度の体育祭実行委員会の意見と今年の体育祭実行委員会の意見

5

鈴木さんは、国語総合の授業で、案内の手紙と返信用のはがきの書き方の練習をしている。次の【同窓会の案内の手紙】と【返信用のはがき(表面)】  
【返信用のはがき(裏面)】を読んで、問1、問2に答えよ。

【同窓会の案内の手紙】

拝啓

□□□□、いかがお過ごしでしょうか。

さて、このたび、二十歳の記念にかすみ高校第三十期生の同窓会を行うことになり、左記の通り計画いたしました。担任の先生たちも来てくださるそうです。ぜひとも、御参加くださいませよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、出欠の御返事は、同封の返信用のはがきにて、十二月二十日までにお願ひいたします。お会いできるのを楽しみにしております。

敬具

平成二十九年十一月吉日

幹事代表 鈴木花子

記

日時 平成三十年一月七日(日曜)午後六時から八時(受付は午後五時から開始します。)  
場所 レストランかすみ

○○県かすみ市東一〇〇番地 かすみ駅東口より徒歩二分

TEL ○〇〇〇〇・一二・三四五六

会費 五千元 当日お持ちください。



- ① 新春の候
- ② 晩秋の候
- ③ 新緑の候
- ④ 厳寒の候
- ⑤ 師走の候

問1 【同窓会の案内の手紙】の空欄にあてはまるものとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

11

郵便はがき

切手	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
----	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

鈴木 花子 行

〇〇県かすみ市南一三五番地

【返信用のはがき(表面)】

御出席

御欠席

御住所

御芳名

【返信用のはがき(裏面)】

問2 「返信用のはがき」を用いて出欠席の返事を書く際の書き方として**適当でないもの**を、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

12

- ① 表面の「行」は二本線で消し、個人の場合は「様」、団体の場合は「御中」を書く。
- ② 出席する場合は、裏面の「御出席」の「御」を二本線で消し、「出席」に○印を付け、その下に「いたします」と書き添える。
- ③ 裏面の「御芳名」は、「御」を二本線で消し、「芳名」に○印を付け、その下に自分の名前を書く。
- ④ 裏面の余白に幹事へのねぎらいのことは書いたり、欠席の場合はその理由などを書き添えたりするとよい。
- ⑤ 裏面の「御住所」は、「御」を二本線で消し、その下に自分の住所を書く。



6

次の文章を読んで、問1～問6に答えよ。なお、行頭の算用数字は行番号を示している。

ある日、中学二年生の「私」が学校から帰ると、「母」が泣いていた。入院中の「おばあちゃん」は病状が思わしくなくということだった。それ以来毎日のように病院に行っている「私」は、誰にも内緒で、ある本を探してほしいと「おばあちゃん」に頼まれた。

おばあちゃんの言葉通り、次の日、私はメモを持って大型書店にいった。そのころはコンピュータなんてしろものはなくて、店員は、分厚い本をばらばらめくって調べてくれた。

「これ、書名正しいですか？」店員は困ったように私に訊いた。

「と、思いますけど」

5 「著者名も？ 該当する作品が、見あたらないんですよ」

「はあ」

私と店員はしばらくのあいだ見つめ合った。見つめ合ってもしかたない、ひとつお辞儀をして私は大型書店を去った。

「おばあちゃん、なかったよ」

10 そのまま病院に直行して言うと、おばあちゃんをあからさまに落胆した顔をした。こちらが落ちこんでしまうくらいの落胆ぶりだった。

「本のタイトルとか、書いた人の名前が、違ってるんじゃないかって」

「違わないよ」びしゃりとおばあちゃんは言った。「あたしが間違えるはずがないだろ」

「だったら、ないよ」

おばあちゃんは私の胸のあたりを見つめていたが、

15 「さがしかたが、甘いんだよ」すねたように言った。「どうせ、一軒いってないって言われてすぐ帰ってきたんだろ。店員も、あんたとおんなじ

ような若い娘なんだろ。もっと知恵のある店員だったらね、あちこち問い合わせ、根気よく調べてくれるはずなんだ」

そうしてふいと横を向き、そのままいびきをかいて眠ってしまった。

私はメモ書きを手にしたまま、パイプ椅子に座って空を見た。季節は冬になろうとしていた。空から目線を引き下げると、バス通りと、バス通りを

縁取る街路樹が見えた。木々の葉はみな落ちて、寒々しい枝が四方に広がっている。

20 すねて眠るおばあちゃんに視線を移す。私の知っているおばあちゃんより、ずいぶんちいさくなってしまった。それでも、もうすぐ死んでしまう人のようにはどうしても見えない。また、もうすぐ死んでしまうのだと思っても、不思議と私はこわくなかった。きっと、それがどんなことなのか、まだ知らなかったからだろう。今そこにいるだけだが、永遠にいなくなってしまうということが、いったいどんなことなのか。

25 その日から私は病院に行く前に、書店めぐりをして歩いた。繁華街や、隣町や、電車を乗り継いで都心にまで出向いた。いろんな本屋があった。雑然とした本屋、歴史小説の多い本屋、店員の親切な本屋、人のまったく入っていない本屋。しかしそのどこにも、おばあちゃんのさがす本はなかった。手ぶらで病院にいくと、おばあちゃんはきまつて落胆した顔をする。何か意地悪をしているような気持ちになつてくる。

「あんたがその本を見つけてくれなけりゃ、死ぬに死ねないよ」  
あるときおばあちゃんはそんなことを言った。

「死ぬなんて、そんなこと言わないでよ、縁起でもない」

30 言いながら、はっとした。私かもしこの本を見つけたさなければ、おばあちゃんももう少し生きるのではないか。ということは、見つからないほうがいいのではないか。

「もしあんたが見つけだすより先にあたしが死んだら、化けて出てやるからね」

私の考えを読んだように、おばあちゃんは真顔で言った。

「だって本当じゃないんだよ。新宿にまでいったんだよ。いったいいつの本なのよ」

35 本が見つかることと、このまま見つけられないことと、どっちがいいんだろう。そう思いながら私は口を尖らせた。

「最近の本屋ってのは本当に困ったもんだよね。少し古くなるとい本だろうがなんだろうがすぐひっこめちゃうんだから」

おばあちゃんがそこまで言いかけたとき、母親が病室に入ってきた。おばあちゃんは口をつぐむ。母はポインセチアの鉢を抱えていた。手にしていたそれを、テレビの上に飾り、おばあちゃんに笑いかける。母はあの日から泣いていない。

「もうすぐクリスマスだから、気分だけでもと思って」母はおばあちゃんをのぞきこんで言う。

40 「あんた、知らないのかい、病人に鉢なんか持つてくるもんじゃないんだよ。鉢に根付くように、病人がベッドに寝付いちまう、だから縁起が悪いんだ。まったく、いい年してなんにも知らないんだから」

母はうつむいて、ちらりと私を見た。

「クリスマスつぼくていいじゃん。クリスマスが終わったら私が持つて帰るよ」

母をかばうように私は言った。おばあちゃんの乱暴なもの言いに私は慣れているのに、もっと長く娘をやっている母はなぜか慣れていないのだ。

45 案の定、その日の帰り、タクシーのなかで母は泣いた。またもや私は、ひ、と思う。

「あの人は昔からそうなのよ。私のやることなすことすべてにけちをつける。よかれと思ってやっていることがいつも気に入くわれないの。私、何をし  
たつてあの人にお礼を言われたことなんかないの」

タクシーのなかで泣く母は、クラスメイトの女の子みたいだった。母の泣き声を聞いていると、心がスポンジ状になって濁った水を吸い上げていく  
ような気分になる。

50 あああ、と私は思った。これからどうなるんだろう？ 本は見つかるのか？ おばあちゃんは死んじゃうのか？ おかあさんとおばあちゃんは仲良  
くなるのか？ なんにもわからなかった。だって私は十四歳だったのだ。

55 クリスマスを待たずして、おばあちゃんは個室に移された。点滴の数が増え、酸素マスクをはめられた。それでも私はまだ、おばあちゃんが死んで  
しまうなんて信じられないでいた。病室では笑っている母は、家に帰ると毎日のように泣いた。おばあちゃんが個室に移されたのは、私が鉢植えを  
持つていったからだと言つて泣いた。

その年のクリスマスは冷え冷えとしていた。私が夏から楽しみにしていた母のローストチキンは黒こげで食べられたものではなかったし、ケーキに  
至つては砂糖の量を間違えたのかまったく甘くなかった。クリスマスプレゼントのことはみんな忘れていよう、私は何ももらえなかった。

そうして例の本も、私は見つけれずじまい。

60 クリスマスプレゼントにできたらいいと思つて、私はさらに遠出をして本屋めぐりをしていたのだが、そのなかの一軒で、年老いた店主が、たぶん  
絶版になっていると教えてくれた。昭和のはじめに活躍した画家の書いた、エッセイだということも教えてくれた。それで、それまで入つたこともな  
かった古本屋にも、足を踏み入れていたというのに。

黒こげチキンの次の日、冬休みに入つていた私は朝早くから病院にいった。見つけれなかった本のかわりに、黒いくまのぬいぐるみを持つていっ  
た。

「おばあちゃん、ごめん、今古本屋さがしてる。かわりに、これ」

65

おばあちゃんははずいぶん痩せてしまった腕でプレゼントの包装をとき、酸素マスクを片手で外し、酸素マスクを片手で外してあげてと言う。「まったくあんたは子どもだね。ぬいぐるみなんかもらったってしょうがないよ」

これにはさすがにかちんときて、個室なのをいいことに、私は怒鳴り散らした。

70

「おばあちゃん、わがまますぎるっ。ありがとくらい言えないのっ。私だって毎日毎日日本屋歩いてるんだから。古本屋だって、入りづらいのになんばって入ってるんだから。古本屋に私みたいな若い子なんかいないのに、それでも入ってって、愛想の悪いおやじにメモ見せて、がんばってさがしてるんだからっ。それにっ、おかあさんにポインセチアのお礼だって言いなよっ」

C おばあちゃんは目玉をぱちくりさせて私を見ていたが、突然笑い出した。私の覚えているよりは数倍弱々しい笑いではあったけれど、それでもごくおかしそうに笑った。

「あんたも言うときは言うんだねえ。なんだかみんな、やけにやさしいんだもん、調子くるってたの。美穂子なんかあたしが何か言うとき目くじらたてて言い返してきたくせに、やけに素直になっちゃって」

75

美穂子というのは私の母である。外した酸素マスクをあごにあてて、おばあちゃんは窓の外を見て、ちいさな声で言った。

「あたし、もうそろそろいくんだよ。それはそれでいいんだ。これだけ生きられればもう充分。けど気に入らないのは、みんな、美穂子も菜穂子も沙知穂も、人がかわったようにあたしにやさしくするってこと。ねえ、いがみあってたら最後の日まで人はいがみあってたほうがいいんだ、許せないところがあつたら最後まで許すべきじゃないんだ、だってそれがその人とその人の関係だろう。相手が死のうが何しようが、むかつくことはむかつくって言ったほうがいいんだ」

80

おばあちゃんはそう言って、酸素マスクを口にアてた。くまのぬいぐるみを、自分の隣に寝かせて、目を閉じた。くまと並んで眠るおばあちゃんは、おさない子どもみたいに見えた。

おばあちゃんは、翌年になってから死んだ。眠るように死んだ。クリスマスからずっと隣に寝かせていたぬいぐるみは、おばあちゃんの棺ひつぎのなかに入れた。おばあちゃんといっしょに煙になって空にのぼっていった。

85

D そうして私は、ついに本を見つけることができなかつたのだ。

お通夜の夜も、告別式の日も、私は泣かなかつた。おばあちゃんが死んでしまつてさえ、死んだなんて信じられなかつたのだ。親戚のだけれど、泣かない私を見て何か言っていたのは知っている。あんなに毎日病院にいらつたのに、涙ひとつこぼさないなんて、強い子だとかなんとか。

私は強くなんかない。ただおばあちゃんが死んだことを信じていないだけだ。だって、私はまだあの本を見つけていないんだから。私が見つけな  
 きゃ、死ぬに死にきれないっておばあちゃんは言っていたんだから。

(角田光代『さがしもの』による。)

問1 本文9行目から17行目までに描写されている「おばあちゃん」についての説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解

答番号は 13。

- ① 腹を立てて少し大きさに反応しただけなのに孫が興奮し始めたので、その気の弱さを情けなく思っている。
- ② がっかりした上に自分の間違いではないかと疑われ、孫をはじめとする若い世代や本屋にまで腹を立てている。
- ③ 孫の同情を引こうとして悔しがったところ、かえって口答えされたので孫の思慮のなさにあきれている。
- ④ 自らを批判する孫の行動が理解できず、不審に思う一方で、本屋の若い娘の行動にはわずかな希望を見いだしている。
- ⑤ 自分の考えをいくら主張しても、孫や本屋の娘が理解してくれないのでますます孤独を感じている。

問2 傍線部A 何か意地悪をしているような気持ちになつてくる。とあるが、それはなぜか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ

選べ。 答番号は 14。

- ① 祖母が死なないように、わざと本を見つけないようにしているから。
- ② 祖母が、見つけれられないような本をさがしてくるよう頼んだと思ったから。
- ③ 祖母がすぐに死ぬようには思えず、本さがしに身が入らなかったから。
- ④ 本を見つけれずに、毎回祖母をがっかりさせてしまうから。
- ⑤ 本が見つからず申し訳ないというより、書店めぐりに疲れたと感じているから。



問3 傍線部B あああ、と私は思った。とあるが、このときの「私」の心情についての説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 15。

- ① 本探しを焦らせる祖母の言葉や母の泣き声が頭の中を巡って混乱し、自分が自分でないかのような不思議な感覚に捕らわれている。
- ② ずっと泣かなかった母がタクシーの中で祖母を非難しながら泣く姿を目の当たりにして、母の大人げなさを嘆いている。
- ③ 本探しの結末や祖母の病状、祖母と母との折り合いの行方など、子供の自分には今後のことが何一つ見えず途方に暮れている。
- ④ 鉢を抱えていた母の思いやりに対して邪険に振る舞う祖母に対する嫌悪感が強まるにつれて、母に対する同情の念が高まっている。
- ⑤ 十四歳の自分を当惑させる祖母や母の言動を冷静に見つめ、自分をこうした状況に追い込んだ二人の未熟さに半ばあきれている。

問4 傍線部C おばあちゃんは目玉をぱちくりさせて私を見ていたが、突然笑い出した。とあるが、ここでの「おばあちゃん」について説明したものととして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 16。

- ① 家族が病気の自分に遠慮していることを不満に感じていたが、「私」が急に大きな声を出したので驚く一方で、「私」が本音をぶつけてきてくれたことをうれしく感じている。
- ② 家族に遠慮のない口の利き方をするのは当たり前だと思っていたが、「私」に強い調子で責められたことで自分の無神経さに気づき、恥ずかしくて照れている。
- ③ 入院をしたことに甘えてわがままになってしまっていたので、「私」の激しい口調には気を悪くしたが、自分に意見をするまでに成長したことを喜んでいる。
- ④ 自分に対して腫れ物に触るような態度をとる家族に悪意と嫌悪を感じていたが、「私」の本心を聞くことでそれが思い過ぎだったと知り、安心している。
- ⑤ 自分は軽い冗談のつもりで言ったただけなのに、「私」が真に受けて言い返してきたので戸惑ってしまったが、あまりに真剣なその表情をおかしく思っている。

問5 傍線部D お通夜の夜も、告別式の日も、私は泣かなかった。とあるが、それはなぜか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 17。

- ① 祖母の本は見つけられなかったが、全力を尽くしたという満足感があつたから。
- ② 祖母が自分の死を受け入れていたので、もう悲しむ必要などなかったから。
- ③ 毎日病院で顔を見ているうちに、祖母の死を受け入れる準備はできていたから。
- ④ 無理な探しものを自分に押しつけてきた祖母の死を素直に悲しむ気持ちにはなれないから。
- ⑤ 頼まれた本を見つげ出ししていないので、祖母の死を受け入れる気持ちになれないから。

問6 この文章の表現の特徴として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 18。

- ① 「おばあちゃん」の家族に対する複雑な思いを、「私」や「母」の証言を交えながら克明に分析し、その切なさを浮かび上がらせている。
- ② 物語全体を一人称で語るとともに、「私」の心の中の言葉を随所に挿入することで、「私」を取り巻く状況や心情を率直に表現している。
- ③ 現在の出来事の描写と「私」の回想とを交互につづることで、読み手を非現実的な世界に誘い、家族を巡る物語に重層性を付与している。
- ④ 登場人物の心情描写を抑制し、比較的短い文で出来事のみを<sup>た</sup>積み掛けるように述べることで、家族の皮肉な状況を淡々と描き出している。
- ⑤ 家族の死期に直面する人々の心の葛藤と浄化を、象徴的な一つの漢語を繰り返し用いて段階的に描くことで、物語に重厚感を与えている。



7

次の文章は、ある僧に関する説話である。元は漢文で書かれたものを、Iは書き下し文で、IIはIの続きを漢文でそれぞれ表記したものである。これらを読んで、問1～問5に答えよ。

I

禪師、尊像を造らむが為に、京に上る。財を売って既に金丹等の物を買ひ得たり。還りて難波の津に到りし時に、海辺の人、大亀を四口売る。禪師、人に勧めて買ひて放たしむ。即ち人の舟を借りて、童子を二人將て、共に乗りて海を渡る。日晩れ夜深けぬ。舟人、欲を起し、備前の骨嶋の辺に行き到り、童子等を取り、人を海の中に擲げき。然る後に、禪師に告げて云はく、「速に海に入るべし」といふ。師、教化すと雖も、賊猶ほ許さず。茲に於て、願を發して海中に入る。水、腰に及ぶ時に、石の脚に当りたるを以て、其の暁に見れば、亀の負へるなりけり。其の備中の海の浦海の辺にして、其の亀三たび領きて去る。疑はくは、是れ放てる亀の恩を報ぜるならむかと。

II

于<sup>(注7)</sup>レ時賊等六人、其寺<sup>(注8)</sup>売<sup>(注9)</sup>金丹。檀越<sup>(注10)</sup>先過量、禪師、後出見之。賊等慌然不<sup>(注11)</sup>知<sup>(注12)</sup>退<sup>(注13)</sup>進。禪師憐愍、不加<sup>(注14)</sup>刑罰。造<sup>(注15)</sup>仏<sup>(注16)</sup>嚴<sup>(注17)</sup>塔、供養已<sup>(注18)</sup>了。後住<sup>(注19)</sup>海<sup>(注20)</sup>邊<sup>(注21)</sup>化<sup>(注22)</sup>来<sup>(注23)</sup>人。春<sup>(注24)</sup>秋八十有余<sup>(注25)</sup>而卒<sup>(注26)</sup>。畜生猶不忘<sup>(注27)</sup>恩<sup>(注28)</sup>返<sup>(注29)</sup>報<sup>(注30)</sup>恩<sup>(注31)</sup>。何<sup>(注32)</sup>況<sup>(注33)</sup>義人<sup>(注34)</sup>而忘<sup>(注35)</sup>恩<sup>(注36)</sup>乎。

〔『日本靈異記』による。〕

(注1) 金丹 —— 仏像の金箔のための金や、装飾用の朱の顔料。  
(注2) 難波の津 —— 現在の大阪市周辺にあった船着き場。

(注3) 四口——四匹。

(注4) 童子——禪師の付き人となっている少年。

(注5) 備前——現在の岡山県南東部。後の「備中」は岡山県西部。

(注6) 骨嶋——地名。

(注7) 于時——時に。一方で。

(注8) 檀越——施主。檀家の者。ここでは、寺の経済上の支援者、地方の豪族など。

(注9) 先過——先にそこに行つて。

(注10) 之——ここでは、訓読せずに語調を整えるはたらき。

問1 二重傍線部 a 願を發して海中に入る、 b 化来人の主語の組合せとして最も適當なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答

番号は 19。

- |   |   |    |   |    |
|---|---|----|---|----|
| ⑤ | a | 禪師 | b | 檀越 |
| ④ | a | 禪師 | b | 禪師 |
| ③ | a | 舟人 | b | 禪師 |
| ② | a | 舟人 | b | 檀越 |
| ① | a | 童子 | b | 亀  |

問2 傍線部A 舟人、欲を起し とあるが、その「欲」から舟人が取った行動はどのようなものか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一

つ選べ。解答番号は 20。

- ① 童子を味方に付け、一緒に禅師をだまして海に飛び込ませた。
- ② 童子を海へ投げ入れ、その後禅師にも海へ入るように強要した。
- ③ 海辺の人に命じて亀を海に逃がし、童子たちと舟で追いかけた。
- ④ 童子を人質に取り、禅師を脅して童子と引き替えにした。
- ⑤ 童子をそそのかして、海辺の人を海に投げ入れさせた。

問3 傍線部B 賊等 慌然 不知 退進。 とあるが、賊等がそのような理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから

一つ選べ。解答番号は 21。

- ① 金丹を売ろうとしたが、仏像の供養はすでに終わってしまったって焦ったから。
- ② 金丹を売ろうとしたが、寺はすでに別の檀越から金丹を買っていきがっかりしたから。
- ③ 金丹を売ろうとした時、海に飛び込んだはずの禅師が目の前に現れて驚いたから。
- ④ 金丹を売ろうとした時、檀越に盗品だとすぐに見破られてしまったって悔しかったから。
- ⑤ 金丹を売ろうとした時、海に落ちてしまった禅師と奇跡的に再会できて嬉しかったから。

問4 傍線部C 畜生猶不忘恩。返報恩。何況義人而忘恩乎。とは、どのようなことを述べたものか。最も適当なもの

のを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 22。

- ① 動物でも恩返しをするのだから、道理を知る人間は受けた恩を忘れてはならないということ。
- ② 動物よりも道理を知るはずの人間でさえも、恩返しをするのを忘れることがあるということ。
- ③ 道理を知る人間ならば、動物から受けた恩も必ず返さなければならないということ。
- ④ 道理を知らない人間は動物と同じで、自分の受けた恩を返さなくても平気であるということ。
- ⑤ 道理を知らない動物は恩返しをしないが、道理を知る人間は受けた恩を返すべきであるということ。

問5 次の【資料】は、『日本霊異記』の序文を現代語訳にしたものである。これを読んで、後の(1)・(2)に答えよ。

【資料】

奈良の薬師寺の僧景戒が、つくづくと世間の人々の行いを観察すると、学問・才能がありながらいやしい行いの者がいる。利益を得ようとつとめて財物をむさぼることは、磁石が鉄の山から鉄を残らず吸い取ってしまうよりもひどいものである。他人の持ち物をほしがり、自分の物を惜しむことは、流頭というけちんぼうの男が、粟粒を砕いてその実ばかりか糠までも食いつくしたことよりも、もつとひどいといった欲深ぶりである。ある者は、この世で寺の財産をむさぼり取り、後の世に牛の子と生まれ変わって、前世での負債をつぐなっている。ある者は、仏法や僧侶を非難して、生きながら火難を受けるといった嘆かわしい実状である。一方、仏道を求め、修行を積んで、この世でよい報いを得ている者もいる。あるいは深く仏法を信じ善行を修めて、生きながら福を受けるといった人々もいる。このように、善悪の報いは、影が形について離れないようなものである。苦・楽が人々の行いに応じて現れることは、それぞれの声が谷のこだまとなって返ってくるようなものである。

(1) 波線部 苦・楽が人々の行いに応じて現れることは、それぞれの声が谷のこだまとなって返ってくるようなものである。とあるが、これは、

23

I・IIの文章にも通じる点がある。具体的にはどのようなことか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

- ① 賊が檀越に金丹をすべて差し出したことで罰を受けずに済んだこと。
- ② 禅師が売られそうになっていた亀を助けたことで災難を逃れたこと。
- ③ 禅師が亀から受けた恩を忘れずにいたことで長生きできたこと。
- ④ 禅師が賊の行為を許したことで周囲の人々に被害が及んだこと。
- ⑤ 童子が禅師の身代わりになったことで人々に賞賛されたこと。



(2) I・IIの文章と【資料】の内容に合致する説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

24

- ① 「果報は寝て待て」というように、良い報いを受けるためには焦らずに行動すれば良いということ。
- ② 「情けは人のためならず」というように、情けをかけるのはかえってその人のためにならないこと。
- ③ 「勧善懲悪」というように、良い行いを勧めればどんな悪人でも改心して行動を改めるということ。
- ④ 「人間万事塞翁が馬」というように、人生の中では良いことや悪いことが交互に訪れるということ。
- ⑤ 「因果応報」というように、自分の行いの善悪によってそれにふさわしい結果がかえってくること。

